

季節のことば

くっきり晴れた秋の野を、かまきり爺さんどこへ行く。鎌をかついで稲刈りに…。小学国語読本で習った記憶の断片など持ち出すと年齢がバレますから旬の味覚秋刀魚(さんま)にしましょう。青光りする肌と銀白の腹。さんまが出るとアンマが引っ込むと言われるくらい栄養

価が高いそうです。昔は下等魚とされていたのに今は高級魚の仲間入り。すると、……あわれ秋風よ、男ありて。今日の夕餉にひとりサンマを食らい涙を流すと…の佐藤春夫純情詩もいささかムード変換ですね。今はクリ、モロコシ、サツマ芋など山野畑の味覚がよろしいようで。

Makasa NEWS

三笠ニュース

PR句報/年4回発行

発行所 三笠産業株式会社

郵便番号101-0064 東京都千代田区猿楽町1-4-3
電話03(3292)1411大代表 ファックス03(3233)0530

フォームと機能を追求!!

MVC-88G型 プレートコンパクター



MVC-88GR

MVC-88GH

この度、数々の優れた特長を斬新な低重心デザインに凝縮した80kgクラスのプレートコンパクターMVC-88G型を開発いたしました。

MVC-88G型はワールドスタンダードのプレートコンパクターを追求し、重量は海外市場での主流となっています80~90kgに合わせました。国内市場では60kgが主流ですが、優れた走行安定性と輾圧力、さらに操作性の良さをお分かり頂ければ日本でも主力としてお使い頂けるコンパクターと自負しております。

輾圧盤は強靱で耐摩耗性に優れたダ

クタイル鋳鉄を使用し、磨耗し易い部分は厚さを増していますので、寿命が大幅に向上しています。また、中空部が無いので耳障りな共鳴音も減少されています。輾圧盤の内側に入った土砂は振動で自然に外に排出されるように設計されていますので泥落としの手間が少なくて済みます。

水タンクは散水コックと散水管が組込まれたカートリッジ式にしましたので、水タンクの着脱時にホースを抜き差しする必要がありません。また、散水管のメンテナンスも楽にできます。更に、錆の心配が無い材料で作られて

います。(特許出願中) 散水コックと散水管はタンク本体とゴムブロックでガードされタンクを外した時でも破損しにくい構造となっています。タンク容量は13リットルと大きく約30分の散水作業が出来ます。散水管から散水された水は輾圧盤前部の溝に落ち、輾圧盤の振動で細かい水滴になり、余り飛び散らずに輾圧盤に沿って流れるように工夫しました。

硬い路面での走行安定性を良くし操作を楽に出来るように機体全体を低重心にしました。ハンドルは楽に操作できるように機体の中央に取り付けるとともに最低高さを切梁の下を通過できるように機体高さより低くしました。また、大型のハンドルストッパーゴムの採用で手許の振動も少なくなっています。

ベルトカバーは安全性を優先し密閉構造としました。振子軸もMVC-60V型と同様ゴムカバーで覆い石跳ねを防止しましたので安心してお使い頂く事が出来るとともに、異物によるベルトの損傷も防いでおります。

エンジンは米国のEPA排気ガス規制をクリアーしたOHV式ガソリンエンジンのロビンEH17及びホンダGX160を搭載しました。また、オプションとして移動車を用意しております。



京谷達也

神保町の古書店がなんとなく軒並み活気を見せている。駿河台の並木道には栗色にかがやくトチの実が落ちていた。思い付くままに「本」の話を書いてみよう。

袖珍本(しゅうちんぽん)は中学生のころ初めて聞いてなぜか印象に残る言葉である。袖に入るほどの小さな本のことらしい。では岩波文庫も袖珍本かと聞いたらいや少々違うという。コンサイス英和辞典を見せてこれかと聞いてもすこし違うと言う。先生も自信ある回答が出来なかったらしい。あれから半世紀余りを過ぎた今日、『袖珍本』はほとんど忘れられた言語になり、なり代わって『豆本』で通用している。

妙な出会いから豆本の会に参加して二十年になる。袖珍本・豆本にまつわる様々な見聞をした。日本では江戸時代に出現した『芥子本』『寸珍本』(すんちんぽん)が始まりで、明治大正には大流行したのだ。現在日本各地で刊行されている豆本のなかには、風変わりな丸型もあれば三角形もあり、大きさもまちまちだが最大でもハガキ半分までとされている。極小は小指の腹ほどのものもあるが普通6センチ×7センチ程度。言ってみれば掌に軽くおさまる宝物のような書籍である。意匠をこらし贅を尽くし凝りに凝った装丁造本に下肝を抜かれて嘆息することもある。天金、総革装、天銀、三方金など当たりまえで、本うるし、ほうろう、ガラス工芸、手織り紡ぎ、草木染め、らでん細工などなど。これらの豆本は日本の平和と経済成長にあわせて続々と誕生した。ほとんどが営利を目的としない刊行物であり、その多くは能率を無視した手作業からなっているから貴重である。なお、昨今の私は書籍スペース僅少という利点をみとめて大いに楽しんでいる。

2000年に向け新しい発想で生まれ、数々の特長を備えたプレートコンパクターMVC-88GR、88GHを是非お使い頂きますようお願い申し上げます。

仕 様

形 式		MVC-88GR	MVC-88GH
機体寸法 mm	全 長	1100	1100
	最大高さ(含ハンドル)	825	825
	高 さ(フック上端)	590	555
	全 幅	500	500
輾圧盤寸法 mm	幅	500	500
	長 さ	525	525
装備質量 kg	水タンク付き(水無し)	85	83
	水タンク付き(水有り)	98	96
性 能	速 度 m/min	22~25	22~25
	振動数 Hz(vpm)	92(5500)	92(5500)
	遠心力 kN(kgf)	13(1320)	13(1320)
原 動 機	OHV ガソリンエンジン	ロビンEH17	ホンダGX-160
	最大馬力 kW/min ⁻¹	3.7/3600	4.1/4000
	ps/rpm	5/3600	5.5/4000
	セット回転数 min ⁻¹ (rpm)	3500	3500
	潤滑油	4サイクル専用オイル	4サイクル専用オイル
	始動方式	リコイルスターター	リコイルスターター
	燃料タンク容量	3.6リットル	3.6リットル

北海道三笠レンタル会 第14回総会開催



7月27日(火)、28日(水)の両日、地獄谷で有名な登別温泉「第一滝本館」を会場に第14回北海道三笠レンタル会定時総会が開催されました。

総会に先立ち三笠主力製品及び新製品の説明会が行なわれ、新製品である4サイクルガソリンエンジン、ダブルクリーナー仕様のMT-52FWランマーをはじめMVH-150前後進パイロコンパクター、軽量型振動ローラーMRH-500DSと信頼のマイコンパイプレーター等を技術研究所員が実演説明し、ご出席の皆様方に改めて性能の良さを知って頂くことが出来ました。

総会におきましては、北海道三笠レンタル会の橋本会長（橋崎リース株式会社社長）より「現在、レンタル業界を取り巻く環境は非常に厳しい状況にあり、会員相互の話し合い協力をもってこの局面を乗り越えて頂きたい」とのご挨拶がありました。三笠産業の京谷社長からは「今年もこのように北海道三笠レンタル会を開催できたことは、会員の方々の日頃のご協力の賜です」とお礼を述べ「三笠レンタル会を軸に三笠製品の市場拡大に益々のご支援を宜しくお願い致します」と挨拶がありました。

今回の総会は、天候に恵まれすぎ、登別では年に一度か二度しかないと言われる最高気温が30度を越す天候となり、皆様方には早々に温泉に浸かって汗を流して頂きました。これこそ「地獄で天国」です。

懇親会は稲垣副会長（栄進産業機械株式会社社長）の乾杯のご発声により賑やかな宴会が始まりました。途中抽

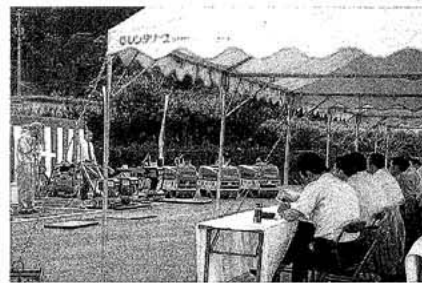
選会もあり、大いに飲んで歌って頂き、伊藤顧問（北海産業株式会社社長）の中締めでお開きとなり、後は二次会場で明日のことも忘れるほど盛り上がりまして頂きました。

翌日はゴルフと観光にわかれて行動。前日同様暑い1日になるかと思われましたが、前日伊藤顧問が中締めのご挨拶の中で「三笠と言うだけあって、だいたい明日は雨が降る」と予言したとおり後半からは生憎の雨になってしまいました。

おかげさまでもちまして二日間の日程全てを無事終了することが出来ました。北海道三笠レンタル会会員の皆様の益々のご繁栄とご健勝をお祈り申し上げます。

札幌営業所 池尻記

東北三笠レンタル会 第15回総会開催



9月9日(木)、10日(金)仙台市の秋保温泉「ホテル佐勘」に於いて第15回東北三笠レンタル会定時総会が開催されました。前日まで雨が降り続きましたが、当日はきれいな秋晴れとなりました。

初日は13時40分より特設会場にて新製品及び主力製品の発表・説明会が行なわれ、技術研究所所長高野専務より日頃の感謝を込めた挨拶の後、自信作でありますMT-52FWランマーや前後進コンパクターシリーズの充実を計るため加わったMVH-150Gと今や輾圧機の主役となってきたMVH-304、402等が紹介されました。

14時50分より会場をコンベンションホール宮城野に移し定時総会が開かれ、はじめに東北三笠レンタル会福田会長（幸和リース(株)代表取締役社長）

より「大変に厳しい状況下ではあります、常に現場の要求にマッチした新製品を開発して下さる三笠産業は我々レンタル業者にとって誠に頼もしいメーカーです」とご挨拶を頂きました。続いて弊社京谷社長より「この厳しい時代を勝抜くために一度メーカーの原点に立ち返り顧客満足度の向上を最大のテーマに、商品力の強化に徹底的に取り組んで行きたい」と挨拶がありました。その後各議事が滞りなく進行し無事総会が終了しました。

16時より三菱マテリアル(株)環境事業部池田氏を講師に迎え「循環社会の創

東京三笠レンタル会 第16回総会開催

第16回東京三笠レンタル会定時総会が9月16日(木)、17日(金)の両日、弊社館林工場及び鬼怒川温泉「男鹿園」にて開催されました。

残暑が厳しい日が続いておりましたが、当日は曇り空で秋を感じさせる涼しい中、多数の会員の皆様にご参加頂きました。

総会に先立ちISO9002を取得した工場を見学して頂き、加工・部品検査・組立・試運転と一貫生産される製品を見て頂いた後、屋外特設会場にて技術本部長高野専務より「お客様に喜ばれる製品の開発と供給を目指していきます」との挨拶で、三笠主力製品及び新製品の説明と実演が行われ、会員の皆様方には熱心に三笠製品を見て触って頂くことが出来ました。

総会は東京三笠レンタル会々長(株)宇建小野寺代表取締役専務の「三笠レンタル会発展の為に、皆々様の暖かいご支援とご協力をお願い申し上げます」との力強いご挨拶を頂き、また、これからはキャッシュフロー重視の時代となっており、会計収支をしっかりと上で、「もう一度原点に戻ってこの不況をさけて通れないことを認識した上で、上手くキャッシュフローを活用して頂き、三笠のMT-52FW等の新製品を採用して

造へのこころみ」と題しての講演が行なわれました。

18時30分からの懇親会では中野顧問（山中産業(株)代表取締役社長）の挨拶を頂いた後、佐々木副会長（(株)イブキ産業代表取締役社長）の乾杯の音頭で始まり、会場のあちこちで笑い声の絶えない終始賑やかで和やかな内に20時に終了となりました。

翌日は西仙台カントリークラブにて親睦ゴルフ大会が開催され、福田会長がグロス82の好スコアで見事優勝されました。

東北一課 渡辺記



頂きたい」とのお言葉を賜りました。

続いて京谷社長より日頃のお引き立てに感謝の言葉を述べるとともに「レンタル業界の発展と共に成長してきた三笠として、昨今のレンタル業界の置かれている厳しい状況に危惧を表明し、業界の健全なる発展を切に願っています」との話がありました。また「三笠としては顧客満足度の向上をテーマに性能、品質、価格の3点で構成される商品競争力の強化に徹底的に取り組む」との説明がありました。引き続き第16期事業計画案等も満場一致で了承され無事閉会。

その後、鬼怒川温泉「男鹿園」に会場を移しコーエイ(株)高屋社長による乾杯の音頭で懇親会が始まり、会員の皆様と三笠社員共に親睦を深め盛会のうちに終了致しました。

翌日、観光組は霧雨の中、日光東照宮を見学されました。ゴルフ組はビートダイゴルフクラブに於いてゴルフコンペが開催され、優勝は橋崎産業(株)岡田本部長、準優勝は(株)サトー山本常務となりました。

横浜課 金子記

スペイン・サラゴサ周章狼狽の記

大きなカーブを曲がりきり、視界が大きく開けると、車内で歓声が上がった。深紅色に輝く夕日が、山の端に沈もうとしている。雄大で美しい風景だ。

午後10時、スペイン某地。
長かった一日は、まだ当分終わりそうにない……

それにしても長い一日だった。今日は朝5時に行動開始。ポルトガルに近いポンフェダーラという場所から出発し、はるばる東のサラゴサまで車で移動したのだ。それだけで7時間位はかかった。スペインの東西半分以上を横断したことになる。

途中、お客を訪問し、サラゴサでのミーティングが終わったのが夕方6時

頃。代理店、商社の人たちと別れて夕刻8時、マドリッド行きの列車に乗る予定だった。サラゴサは西のマドリッド、東のバルセロナとのちょうど中間に位置する都市である。サラゴサからマドリッドまでは約300kmほどの距離がある。明日はマドリッド発6時の飛行機で次の出張地ポルトガルへ移動するスケジュールである。

そう、マドリッドへはなんとしても今日中にたどり着かなければならないのだ。

そういうわけで、午後7時30分頃、サラゴサ駅でマドリッド行きの列車を待っていた。その前のバルセロナ行きの列車が30分も遅刻して出発したの



マドリッド行の長距離バス

で、電光掲示板の8:09という数字を見たとき、「まったく、スペインの列車はいい加減で当てにならねえ」と舌打ちする余裕を見せたのだが、これが間抜けの始まりだった。駅の食堂でビールなんか飲んでしまつて上機嫌。駅内アナウンスがやたらマドリッドと叫んでいたが、「しつこいね、遅れているのは分かっているんだよ」それでも定刻の8時には、「ホームに出て待つことにするか、俺も日本人だねえ」と移動開始。千鳥足でホームに着くと同時に、向か

いのホームから列車がすーっと滑り出していった。嫌な予感がした。

自分のいるホームの電光掲示板を見ると、マドリッド8:09、Salida XXXXと確かに出ている。「ほら見ろ、やっぱりマドリッドだ、間違いないぞ。ところでSalidaって何だ?」

先ほど、一等席の乗り方を教えてくれた駅の職員が、やおら近づいてくると両手を大きく横に広げた。世にも悲しい目をしている。ロイド眼鏡に白い髭をはやしたそのおじさんは、黙って階段上を指さして、ついてこい、という仕草をした。

事務所には、もう一人小柄なおじさんがいて、やはり気の毒そうな目をこちらに向けて話しかけてくるのだが、いったい何を話しているのやら皆目分からない。Salida, Salidaと言っている

“三笠”がある風景

ベトナム・ハノイ市にて
撮影者・清水義正
(海外営業部)

バイパス沿いの大きな
看板。通りすがりに車の
中からパチリ!

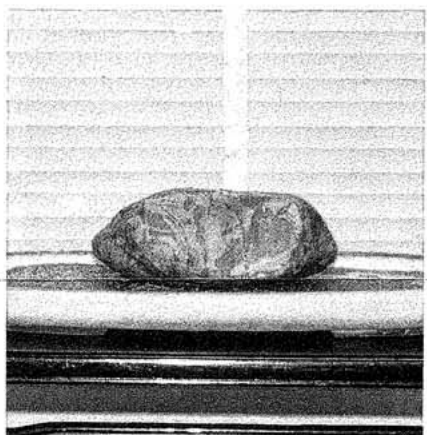


【写真募集】“三笠”がある風景、または、あなたの写した自慢のスナップをお寄せ下さい。採用分には心こ

めた記念品を贈呈します。宛先は本社総務部『ニュース』編集係。



無味乾燥な技術屋、機械屋と思われる人物に、意外な趣味人がいて驚かされることが多い。人間の技術や計算への反動作用で、天然自然のものに



岡部さん自慢の水石・水をかけるとえもいわれぬ模様が現れます。

魅かれて生じる趣味なのかも?

春日部工場・岡部弘さんが川や海で石ころばかり見て歩くようになったのは十年ほど前からである。初めのうちは誰も知らなかったが今では知人ぞ知る。慰安旅行の旅館での朝「大変!岡部さんが見えません」と誰か心配すれば「なあに河原で石探しだろう」と誰かかならず答えて安心させてくれるようになった…とか。

噂話をそのまま一人歩きさせてはならない。そこで御本人を失礼ながら電話で直撃した。

「ハッハハハ、私を沢庵の石集めだと野次ってくれる者もいるけれど、なんの馬耳東風。つい昨日の日曜も早起きして荒川の河原を歩きましたよ」

岡部さんの石趣味にはさらに十年余も遡る盆栽嗜好が加わるから合わせると二十年余りのキャリアになる。

『牛島一樹会』という盆栽趣味の仲間に入れてもらってヨチヨチ歩きを始めた。「まだまだ、お前の作品は盆栽なん

のが、かろうじて聞き取れた。はて? Salida?

スペイン語はほとんどわからない。今回の出張で唯一覚えた言葉といえは、さっきの駅食堂で使った、「セルベッサ、ポルファボール」(ビールください!）、これくらいである。

セルベッサが「ビール」、ポルファボールが「お願い」、という意味。つまり、セルベッサの部分の言葉を置き換えれば、簡単な依頼文が出来るというわけだ。たとえば、パエリヤ、ポルファボール(パエリヤください)カフェ、ポルファボール(コーヒーください)という具合。(易しいでしょ?)

おっと、こんな話をしている場合ではなかった。言葉が通じないというのはこんなとき困る。彼らのただならぬ表情を見ていると、どうやら、“あなたはもはやマドリッドには行けませんよ”と言っているようである。さすがに、狼狽した。でも、マドリッド、と掲示板に表示されていたではないか。すると、今度は時刻表を取り出してきて説明を始めたのである。そして、彼の指さすタイムテーブルを見て啞然とした。あの表示は、マドリッドから来

た列車が8:09にXXXXという町に向けて出発する(出発=Salida)、という意味だったのである。反対方向へ行く列車を待っていたのだ。そんなバカな。すると、あの向かいの列車がマドリッド行きの列車だったのか。なんだ、定刻通りじゃないか、ふざけやがって。行き場のない怒りがわきあがるとともに、飲んだビールが滝のような汗となって吹き出てきた。

今度は自分が世にも悲しい顔をする番だった。間抜けな自分。可哀想な俺。それからは、必死だった。“マドリッド、マドリッド、マドリッド、ポルファボール!”どうしても今日中にマドリッドにいかなくてはならないのよ、頼む。そここのところ分かってくれ!と祈りを込めて、ひたすら嘆願した。と、突然、列車が駄目なら飛行機があるではないか、と気がついた。“なぜもっと早く気がつかないの、俺もほんとバカな奴さ”あきれながらもさっそく事務所の電話を借りてサラゴサ空港に連絡をとる。なんとかイベリア航空につないでもらって、夜11:05発マドリッド行き便があることが判明。ほら見ろ、あるじゃないの。しめしめ。

ところが、すでに予約がいっぱいで



トウモロコシの社長の旅論

京谷弘也

えっ! 旅の話ですか。おことわりするけど僕の出張は「旅」ではありませんよ。あくまでも仕事。それで余暇を盗んで名所観光を…、と人は思うだろうけれど残念ながら僕はそうじゃない。暇もないしその気もない。旅情とか旅愁には不感症の人間かもしれないと思っています。

でもこんな機会に「旅」について考えてみようかなあ…。

街を歩いても新聞を見ても旅行案内の広告が賑やかです。あらゆる交通機関とホテル・旅館を取りこんだ旅行業という巨大ビジネス。需要があるから供給があり、その数は僕には見当がつかないけれど大変な数になるだろうね。

人はなぜ旅に出るのか…? 旅行ブームと切り離して考えると、人は誰しも心の片隅で日常のわずらわし

て呼べないぞ。それは鉢物というのだよ…」なんて先輩から冷やかされながら学び磨いた天然美の感覚。

やがて盆栽に石を添える楽しさ、また石そのものを観賞する水石の面白さへと広がってきた。

樹木と同じように石には石の会話がある。大小にかかわらず石はそれぞれ会話している。流水の作用で穴があい

さから開放されたい願ひがある。だから旅に出る。慰安と憩いの時をすごして、結局はまたもとの日常的環境にもどってくる。ひところ変わり種でヒッピーというのが流行したけれど、彼等は日常生活や社会的慣習から離脱してさ迷う、あれも旅人といえるのじゃないかねえ。『奥の細道』の松尾芭蕉とかいう俳句のおじさんは旅から旅への人生をおくり旅先で死んでいったという。僕は思うんだけど、旅は目的地に到着するまでの長い過程であって目的地そのものではない。現在のように飛行機や新幹線で居眠りしながら目的地に着いて、ロンドンへ行ってきました九州旅行をしてきましたでは「旅」という語感にじっくりきませんよ。それでは僕の「出張」と同じことじゃないかと思うんです。

へそ曲がりの旅論議になったけれど、僕は出張の旅は嫌いではない。どんなに枕が変わっても寝られるし、パソコンと携帯電話と丈夫な胃袋の三種の神器を持参して、いつでもホイホイと出かけて行きます。情緒は黙殺のビジネス出張です。

た『たまり』と呼ばれる珍品を見つけた時など、その沈黙の経歴談にひとり耳をかたむけて聞き飽きない。

「水をかけると模様が浮き出す石もあれば梅花石、菊花石など様々です。盆栽は水遣いを怠けたら枯れてしまいますが、石は我慢強い。いいですねえ…」岡部さんの石趣味は今後ますます深みを増すことでしょう。

満席、乗れません、との返答。

秋葉原駅で鳩の糞を顔でキャッチした時と同じくらいのショックだった。これでまた振り出しに戻った。

とにかく落ち着こう、落ち着け、と心の中で繰り返した。“慌てたってしょうがない、まずは一服つけよう”と、



これがパエリアだ

ライターに火を点けると、指に煙草をはさんでいない。順番が逆。火だけ点けてどうする。そのまま着火の具合を確かめるふりをしながら、心の灯はいよいよ暗くなるのだった。

……そして、今。

マドリッドへ向かうバスの中にこうしているわけである。すでに太陽も沈んでしまった。サラゴサ9:15発マドリッド行きの長距離バスにどうやってたどり着いたのか、思い出すのも疲れる。バスターミナルで、突然尿意をもよお

して、そこにいたお爺さんに、身振り手振りでトイレの場所を尋ねたところ、爺さん、ひえー、と奇声を発して逃げてしまった。怒りを通り越して悲しくなった。勘違いしないでくれよ。

しかし、まあいいや、もう少しの辛抱だ。ともあれ、長距離バスのことを教えてくれた駅のおじさんには感謝している。ありがとう。なんとかマドリッドにたどり着けそうだよ、おじさん。

午前2時。もうすぐでマドリッドだ。長い長い一日がようやく終わることになる。ついに日付も変わってしまった。それにしてもなんて長い日なんだ!

そうだ、マドリッドに着いたら、ホテルに帰る前に小さなバーに寄って帰ろう。今日という一日に、けりをつけておきたい。そして一人で祝福しよう。バーに入ったら、店のマスターにまずひとこと、こう呼びかけるんだ。

「セルベッサ、ポルファボール」
(文責 ふの字)

ユアサ商事(株) やまづみ会主催のグランドフェア



第22回産業と暮らしのグランドフェアが7月2日(金)、3日(土)の両日、東京、有明の東京ビッグサイトで開かれた。

今年のテーマは“Chance, Challenge & Change”、キャッチフレーズは「新たな発見からの挑戦、そして改革へ」正に現在を象徴しているようである。お客様の中にはこの厳しい時代を乗り切るための1つの材料として何か新しいものは出ていないか等今まで以上に厳しい目を持って来場されたお客様が多かったように感じられた。

グランドフェアはこの時季、建機業界にとっては恒例のイベントであり同時に天候もまた名物の一つである。今年とはいうと1日目が例年のごとく晴天に恵まれ、2日目はというと雨といったなんとも例年とは違った様相を呈した。

そんな中各建機メーカー(74社)がそれぞれに自慢の新鋭機を始めとする新製品と目玉商品を前面に押し出し、安全性や快適性等を要求するインフラ整備に適合した機械や、環境にやさしい技術、システムや機械を通じて一同に展示され、それぞれに熱い商戦が展開された。

三笠コーナーも今年は展示スペースを広げ、数多くのお客様に4サイクルランマの新製品(MT-52FW)を中心に前後進バイプロ、MRH-500DSローラー、マイコンバイブレーターなどの新製品を展示、実演し好評の中多く

の御成約を頂きました。

尚グランドフェア'99は東京、高松、札幌、仙台、広島、福岡、大阪、名古屋他全国各地で多くのお客様を集め盛大に開催されました。

この展示会開催にあたり、大変な御苦労をなされたユアサ商事(株)の皆様へ感謝し、お礼を述べると共に益々の御発展を心よりお祈り申し上げます。

東関東課 八巻記

夏休み 親子工場見学会

学校が夏休みに入ったばかりの7月26日と30日に館林市主催による「夏休み親子工場見学会」の一行が、館林工場を訪れました。これは夏休み中の子供たちに、普段見ることの出来ない市内の工場内部の見学を通じて、働くことの意義や、地域で生産されている製品への認識を深めていただき、ひいては地元への愛着をさらに高めてもらおうという趣旨によるものだそうです。

館林工場においては、数年前にも一度行なわれたことがあり、今回は当工場を含めて4工場を、市のバスで回るコースが設定され、小学校3年生以上の子供と親ということで、市の広報誌で募集したところ予定を上回る応募があり、2回に分けての実施となりました。

さて当日は、梅雨明けしたばかりの暑い中、午前11時前にチビッコたちを含めて25人の市民の方々が到着。まずは会議室で十九浦工場長が工場の概況並びに、作られている製品についてカタログを見ながら説明を行ない、続いてマイコンバイブレーターのPRビデオを見てコンクリートバイブレーターとは何かという事を理解していただきました。

時間の都合もあり、説明もそこそこに見学の開始です。まずは機械加工部



門へ。ムツとする暑さの中(ちなみに当地館林市の暑さは夏の間何度も天気予報に出るくらいの暑さです)NC旋盤では、加工中の部品がモニタに映し出され、どの部分を加工しているのか一目でわかる様子や、ロボットを使用しているランマのクランクギヤの加工、さらに加工前と加工後の形の変化に驚いていたようでした。また、隣のマシニングセンタの加工ラインでは、異種類の部品が整然と加工されている様子や、工作機械の値段を聞いてビックリしていました。ただ、パソコンで工程管理を行なっていて、伝票についているバーコードを読み取らせて…という説明や、パソコンの画面を見せても驚かないのは、やはりテレビゲーム世代なのでしょうか。

次への移動途中、受入検査部門では、チョット難しかったけれど「ISO」の話をして、不合格になった部品を見てもいい、不良品は作らない、出さない、ということの説明しました。

第2工場に移動し、いよいよ当工場の誇る組立3ラインの見学です。高周波バイブレーターのラインではその振動にビックリし、ローラーのラインでは組立後の試運転の様子に興味深そうに見ていました。そして最後はランマのラインです。会議室での説明で、日本一の生産量を誇るといったことを聞いていた子供達は、ライン上に並んだランマの様子や、組立機械、塗装ロボットの動きに目を奪われ、またまたびっくり



したようでした。その後、物流センターを案内し、移動ラックの動きや他工場で作られている製品について説明を行ない、全てが終了して会議室に戻ったのは昼直前でした。締めくくりに市の担当の方からお礼の挨拶があり、次の見学地へと向かって行きました。

後日、館林市長からお礼の書状が届き、子供たちの様々な感想がまとめられて同封されていましたが、一番多かったのは、

「暑さの中、みんなガンバッテ働いていた」という感想でした。働いている姿が子供たちにそんな感想を与えたことは、私たち工場の社員にとっても大いに励みになります。

駆け足で回った見学会でしたが、夏休みの思い出のひとつになったことでしょう。

館林工場 寺内記

三笠クイズ VOL.35

【問題】 タテとヨコのかぎを解いて1~5の文字をつなげると、秋にふさわしい言葉が浮かんできます。さて何でしょう。

ヒント

ヨコのかぎ

ア. 日本に鉄砲を伝えたのはこの国の人だと言われている。首都はリスボン。
イ. 「○○○○○」は異変が来る」と言われていますが、人類は無事に21世紀を迎えられますよね。
ウ. お○○まいりのお土産といえは赤福です。
エ. 素焼きの器。縄文式、弥生式等というのがあります。
オ. レンコンはこれの地下室。
カ. 言ってもかいたくないことを言てなげくこと。○○っぽい人。

タテのかぎ

A. 海の神。○○○○○・アドベンチャーは映画のタイトル。
B. 前からあるものに次から次へと積み重ねること。○○○○赤字。
C. 日本では佐渡にしかない鳥。学名ニッポニア・ニッポン。
D. 筑波山は「○○の油売り」で有名。
E. 「アブ○○とらず」とは二つのものを取ろうとしてどちらも取れないこと。
F. 外見。あの人は○○○○がよい。

応募の方法 官製ハガキにクイズの答えと住所、氏名、年齢、職業(会社名)をお書きのうえ応募ください。正解者には抽選の上10名様に記念品を差し上げます。

●あて先 101-0064 東京都千代田区猿樂町1-4-3

三笠産業株式会社「三笠ニュース」編集部

●締切り 1999年11月15日(消印有効)

VOL.34の答えは「ウミノイエ」でした。次の10名様に図書券をお送りしました。

遠藤敏光様(入間市)中田由美子様(大館市)波佐尾明様(文京区)石田とみ様(木曾郡)淡路美由紀様(北浦原郡)戸塚祥代様(浜松市)坂本陽子様(山鹿市)東郷典子様(大和市)山地由記子様(田無市)底押美保子様(山口市)

氏名 ながさわ 賢一

生年月日 昭和45年2月9日

出身地 東京都

所属 技術開発部

家族 妻



——日頃どんな仕事をしていますか？

技術研究所に所属し、輾圧機械の部門にて、製品のマイナーチェンジ・耐久試験・新規開発など、主に製品が生産されるまでにまつわる実験や構造部品の設計などを行なっています。

——今最も関心を持っていることは何ですか？

近年、地球規模で環境に対する数多くの問題が提起されています。ご存知のように自動車のCMではここ数年、燃費の低減、排気ガスのクリーンさを謳ったものが多く見受けられるようになって来ています。私たちの製品に搭載しておりますガソリンエンジンに関しても同様に2サイクルから4サイクルのOHV形式に移行しつつあり、エンジンメーカーと協力し合いながら、環境に対する負荷の少ない、より扱い易いエンジンを、より早く製品に搭載し、お客様に提供させて頂いております。また、一人でも多くの方に三笠製品をご愛用して頂けるようオペレーターの疲労が軽減されるような製品を提供できるよう頑張りたいと思っています。

我・ら・三・笠・の・青・い・空・を・飛・ぶ・鳥



氏名 なかむら 佐千代

生年月日 昭和40年6月28日

出身地 茨城県

所属 営業サービス部

家族 独身

——日頃どんな仕事をしていますか？

部品サービスセンターにおける総務的なことや、修理・部品・仕入などの入力業務、ステッカーの作成などこまごまとしております。

——今最も関心を持っていることは何ですか？

今、食事を見直そうと思っています。キーワードは「今日の食事は10年後の体を作る」だそうです。K係長が言っていました。なるほど!と思い朝ごはんを食べるようにしたり、体にやさしい事を心がけるようにしています。私の回りの不規則な人達にも声をかけていますが、結果は…。

——お客様に一言どうぞ

新製品や改良に伴い、部品・修理関係が多様化してきている為、お客様にはお手数をおかけしてしまう事もありますが、三笠製品が、皆様の身近なパートナーになれるように、これからも努力していきたいと思っていますので、今後ともどうか宜しくお願い致します。